

# 第14回全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町



▲8月10日 集合写真



一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会

# 8月8日（金）開会式・講演

※敬称略

## 挨拶

- ①主催者：一社）全国高校生地方鉄道交流会 代表理事 大溝貫之
- ②美里町：宮城県美里町 副町長 須田政好

## 講演

- ① 美里町 産業振興課 主幹 兼 商工振興係長 兼 観光振興係長 小南友里  
テーマ：鉄道と地元産業との関わり～今までとこれから～
- ② 鉄道写真家 武川健太  
テーマ：「福幸もたらす鉄道と人の力」  
写真家として鉄道と関わり、なにができるのか？～好きを生かすアイデアと、伝わる写真の撮り方～
- ③ 元近鉄広報マン 福原稔浩  
テーマ：～阪神に憧れた少年が、近鉄の名物広報マンになるまで。そして新たな挑戦～  
「運命の分岐点を越えて——鉄道と共に歩んだ50年」
- ④ 東日本旅客鉄道株式会社 東北建設プロジェクトマネジメントオフィス  
北東北プロジェクトセンター 小野田 恵一  
テーマ：元高校鉄道研究部部長のJR 社員が語る「わたしの地図の読み解き方」

## 挨拶 ③元東日本旅客鉄道株式会社 石越駅長 伊藤研一



# 8月8日（金）グループトークセッション（交流会）

※敬称略

## ■ 5グループ／15:00～17:00 ※講師が時計回りに次のテーブルに移動

- 1.福原稔浩（元 近畿日本鉄道株式会社）
- 2.小野田恵一（東日本旅客鉄道株式会社 東北建設PMO）
- 3.武川健太（鉄道写真家）
- 4.小南友里（美里町）
- 5.伊藤研一（元東日本旅客鉄道株式会社）



## ■ 福原稔浩氏から 各校にサイン色紙プレゼント



# 8月8日（金）グループトークセッション（交流会）

※敬称略

## ■じゃんけん大会

美里町陸羽東西線100周年記念クリアファイル（非売品）  
20名にサプライズプレゼント ※美里町産業振興課より



▼閉会の辞：大溝代表理事



▼集合写真



# 8月9日（土）ホスト校 交流会

## ■学校紹介等



## ■キーホルダー作り



## ■牛小屋見学



# 8月9日（土）ホスト校 交流会

## ■牛小屋見学



## ■集合写真



# 8月9日（土）軌陸車デモンストレーション

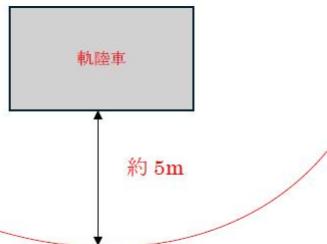
## ■軌陸車

軌陸車テック株式会社 総務部 経営戦略グループ 村上諒主任

開催場所：宮城県小牛田農林高等学校 駐車場

開催時間：11:35～12:10

<https://kirikutech.jp/>



説明者と軌陸車が映りやすい位置に配信チーム配置

- ①生徒は軌陸車から5mほど離れて弧を描くように集まり、実演を見学。
- ②実演終了後 軌陸車に近づいて見学
- ③代表生徒2名+カメラのみ軌陸車運転室の見学

※各校代表者 じゃんけんで2名選出



集合写真▶



# 8月10日（日）企画部門プレゼンテーション

※敬称略

開催場所：美里町駅東地域交流センター 1F 多目的ホール 住所：宮城県遠田郡美里町駅東二丁目17番地4  
開催時間：9:30 受付開始／10:00 企画部門プレゼンテーション

## 挨拶

- ①主催者：一社）全国高校生地方鉄道交流会 代表理事 大溝貴之
- ②宮城県美里町長 相澤清一
- ③東日本旅客鉄道株式会社 小牛田統括センター 所長・小牛田駅長 渡邊和利

## 審査員

- ①宮城県美里町長 相澤清一 《審査委員長》
- ②東日本旅客鉄道株式会社 小牛田統括センター 所長・小牛田駅長 渡邊和利
- ③一般社団法人 美里町物産観光協会 副会長 平哲弥
- ④鉄道写真家・フォトエデュケーター 武川健太
- ⑤東洋経済新報社 編集局 記者 大坂直樹



# 8月10日（日）企画部門プレゼンテーション

## ■審査員



## ■プレゼンテーション



# 8月10日（日）プレゼンテーション・講演・表彰式

※敬称略

## ■プレゼンテーション



## ■講演／鐵坊主



## ■各校にサイン色紙プレゼント／鐵坊主・武川健太



## ■表彰式／講評：宮城県美里町長 相澤清一

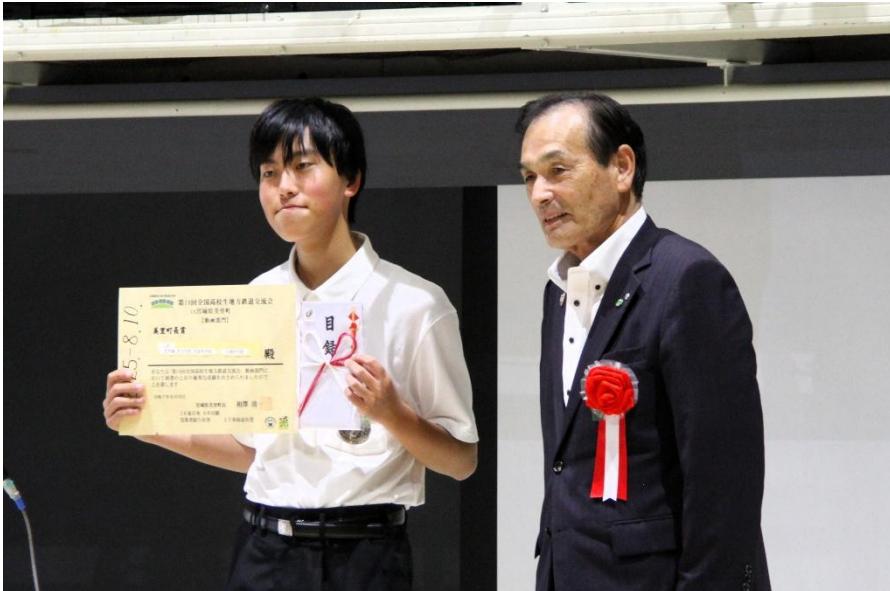
総評：株式会社東洋経済新報社 大坂直樹



# 8月10日（日）表彰

## ■動画部門

美里町長賞 【集結と発信の地、美里／芝学園芝中学校・芝高等学校 交通研究部】



▼入録：鐵坊主氏



作品：<https://youtu.be/CxFqNeJ3Zpc>

踏切のやや抑えた警報音から始まり、映像情報がフェードアウトしてからも、しばらくサウンドがかぶさって耳に残り、余韻を感じさせながら シーンの切り替えを自然にもつくる工夫がなされていました。

シーンが代わっても、小牛田駅を分岐点に据え、東北本線、陸羽東線、石巻線を3色でリアルに表現した路線図を長く画面上に残すことで、タイトルと映像情報を上手にリンクさせていました。

列車内の放送と列車の出発時、到着時に出す機械音がとても効果的に使われており、駅を朝の光と夜の闇のなかで撮影し、時の流れと日常が表現された素晴らしい作品でした。

### -----制作者コメント-----

4路線4方向が集まる地、美里町。

そこは、自然あふれる中で列車が集まり発車していくという、まさに日本の景色を"集結"させたような風景を、"発信"していく場所なのではないでしょうか。

踏切、列車到着、信号など、タイミングを考え、アニメーションや字幕などで メッセージ性のある動画に仕上げました。計3回の訪問は金銭的にも厳しく、さらについい風景を撮るために苦戦しました。

※エントリー 全4校 ※エントリー作品：[https://youtu.be/Nm\\_e-FvIf\\_8](https://youtu.be/Nm_e-FvIf_8)

# 8月10日（日）表彰

※敬称略

## ■写真部門

美里町長賞 【田園気動車／田辺悠成／成城中学校・成城高等学校】

写真部門 美里町長賞



『田園気動車』

田辺 悠成

成城中学校・成城高等学校



第14回 全国高校  
ラス函部門

直線を鮮やかに用い、画面上にいくつもの三角形が構図を締めています。  
色彩は透明感のある青い空と大崎耕土の稲穂の緑のなかを軽やかに列車が走る。  
この地の豊かさを表現したい意図が素直に表現できたできた作品です。

東日本旅客鉄道株式会社 小牛田統括センター所長賞 【黄昏時の鳴瀬川／今井陽希／古川学園高等学校】

写真部門 東日本旅客鉄道株式会社  
小牛田統括センター所長賞



『黄昏時の鳴瀬川』

今井 陽希

古川学園高等学校



黄金色と紺碧が美しく混じり合う一瞬をカメラが切り取っておいてくれました。  
随分長い間辛抱して、この黄昏を捉えることに成功しましたね。  
多くの写真の中から、この写真をエントリー作品に選んだ審美眼は素晴らしい感性だと思います。

# 8月10日（日）表彰

※敬称略

## ■写真部門

一般社団法人美里町物産観光協会 会長賞 【暑い日、駅のベンチの上で】宮澤 遼／東京農業大学第二高等学校・中等部】



写真部門 一般社団法人美里町物産観光協会  
会長賞

『暑い日、駅のベンチの上で』



宮澤 遼

東京農業大学  
第二高等学校・中等部



第14  
写真部門

暑い暑い夏、友達と駅のベンチで冷たーいカップアイスを食べる。日常の中の幸せな一時を切り取りました。何気にすっとシャッターを切った様に見えますが、なんのなんの、ピントはカップアイスの蓋にフォーカスされ、駅名標をはじめ、その他のものは、ソフトフォーカスでボカシ処理されています。半ズボン、原色のシャツの挿し色効果が全体を引き締めています。かなりの技術力を駆使していますが、それを感じさせない素晴らしい作品です。

武川健太賞 【いざ、石巻へ】鷲巣雅楽／芝学園 芝中学校・芝高等学校】



写真部門 武川健太賞

『いざ、石巻へ』



鷲巣 雅楽

芝学園  
芝中学校・芝高等学校



探しました。歩きました。見つけました！ 夏草の海を推進するDDが牽引する貨物列車を見下ろす小高い丘。フルコンテナ積載貨車が見せる美しい円弧。架線も架線柱もない線路なので対象の存在感が際立ってくれました。

# 8月10日（日）表彰

※敬称略

## ■写真部門

佳作 【見守る！美里の転車台／市谷直澄／清風南海学園 清風南海高等学校】



写真部門 佳作  
『見守る！美里の転車台』

市谷 直澄  
清風南海学園  
清風南海高等学校

ピントが転車台にフォーカスされているので、主役は転車台で、列車の運行を見守ってくれているのは、転車台です。操作室のサビが長年に渡る安全確認業務の過酷さを際立たせています。鉄道の町美里町の転車台は、ひたすら業務を続ける鉄道マン。傍らを進む列車の運転士は、きっと合図を送って通過するでしょう。

佳作 【年少時代／松下結仁／成城中学校・成城高等学校】



写真部門 佳作  
『年少時代』

松下 結仁  
成城中学校・成城高等学校

作品を横断する跨線橋のバーは、どんな意味があるのだろう？年少時代というタイトルを見て、仮説を立てました。井上陽水の夏の思い出を歌う「少年時代」と似ている。「年少」は、「さん」を付けると「年少さん」つまり幼稚園児の年少さん、3歳児。そうか、3歳児の目の高さを表現するための象徴が画面を横切る白いバー。年少さんが音に気づいて視線を向ければ、列車が自分に向かってきた。レンズの位置が年少さんの目の高さ、年少さんの見ている世界。その時代を高校生になった青年が、懐しく思い出して、レンズを下げて切り取った。

佳作 【田んぼのなかの一本路／池見凜太朗／芝学園 芝中学校・芝高等学校】

池見 凜太朗 芝学園 芝中学校・芝高等学校

写真部門 佳作  
『田んぼのなかの一本路』



真夏日の美里町の緑の稻穂の海を貫く一本の鉄路を、白い気動車が軽やかに向かってきます。遮るものない秋の気配の漂い始めた空がすべての存在に優しく寄り添ってくれています。作者の感性が作品に奥行きを加えてくれました。

# 8月10日（日）表彰

※敬称略

## ■写真部門

佳作 【夏空と疾走／名取 翼／東京農業大学第二高等学校・中等部】



シャッタースピードを抑えて、  
露光時間を長めに設定し、列車の踏切通過を  
一枚の絵に仕上げました。  
遮断器の警報音も列車の通過する音も、  
待っている人も 絵の中に取り込まれ、  
遮断器の上がる音と夏の喧騒が  
列車の通過した瞬間に聞こえはじめめる、  
夏を閉じ込めた魅力的な作品です。

佳作 【揺れる稻、雲の下をすべりゆくYukemuri Line／齊藤史泰／成城中学校・成城高等学校】



滑るように軽やかに進んで行く  
陸羽東線の気動車。  
青々と育った稲穂を風が渡ります。  
太陽は 恵みの光を 田圃だけではなく、  
入道雲にも白い気動車にも撮影者にも列車にも  
与えてくれました。  
美しい里の姿が一枚の絵に仕上りました。



※エントリー 48名 ※エントリー作品：<https://youtu.be/mKGFgqAAp-U>

# 8月10日（日）表彰

## ■企画部門

美里町長賞 【成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部】



### 企画部門 美里町長賞

美里町活性化案

成城中学校・成城高等学校  
鉄道研究部



学園都市小牛田：青生地区に小学校から大学までを誘致し、学生のいる家庭には住民税の減免措置を施し、若者世代の定着を図る活性化案は、交流会で初めて住民税にまで踏み込んだ提言だと思います。

固定資産税評価額にもメスを入れるともっと効果的かもしませんね。

朝は、仙台方面行きの上りに比べて空いている仙台から小牛田方面の下り線に誘客する秀逸案です。

仙台市内の大学のサテライトキャンパスから開拓すれば可能性はありますね。

米どころである、田圃が多い、見通せる空がある、遮る建物ない、星月夜が見られる、と連想が膨らんだのでしょうか。

スバル天文台技師の出身地に気付いたのは、部員にもStarHunterがいたのでしょうか。

町営バスの路線の見直し改革案は素晴らしい慧眼です。

小牛田駅を中心に大胆に東西にゾーンを分け、線路を横断することで時間がかかっていた従来の運行経路を大幅に短縮することで時短になり、結果、バス便を増やし、待ち時間の軽減になります。

必要となるバスの充填は、中学校統廃合により、余った研修バスを充てる提言は、より使いやすい新バス路線案も創出していますので、すぐにでも実現化できます。

駅東駐車場への町役場新造移転案は、現町役場の築年数も考慮し、駅東地区に不足している商業施設を誘致することで建築、保守費用を貯め、同時に利便性のアップ、子育て支援施設創出で居住性アップ。

鉄道施設展望デッキ・SL展示室・鉄道博物館を設けることで鉄道の街のシンボルマークとする、ワクワクする提言でした。

ベッドタウン美里町構想も必要なものはすべて備えられ、南郷地区のテコ入れが必須との美里町全域の活性化を考えた積み残しなしの提言は、皆さんが頑張って、美里町の現状を丁寧に調査したことを示す証左だと思います。

すぐにでも実現化できる活性化案を数多く提言してくれた素晴らしいプレゼンでした。

# 8月10日（日）表彰

## ■企画部門

東日本旅客鉄道株式会社 小牛田統括センター所長賞 【清風南海学園 清風南海高等学校 鉄道研究部】



「無ければ、創れば良い」既存の資源を組み合わせて、有効利用すれば、思わぬ相乗効果をもたらすことを、あらためて確認できたプレゼンでした。福知山鉄道館フクレルを参考に、駅東駅前空地に、屋上展望デッキ付き・転車台上に載せられたSLを間近から観察できる鉄道資料館を創設。

NTT施設を改修して、地元商店、食堂などと誘致し、イベント会場、出張ブースなど多目的にリユースする。

廃校になった3つの中学校のうち、解体が決まっていおらず利用方法を公募している一校を「バラ園」とする。

SLの形に見えるように立体的にバラを飾り付け、映えスポットとする案を聞いたとき、十和田市現代美術館にあるチエ・ジョンファ氏作の「フラワー・ホース」という躍動する馬の全身が綺麗な花で覆われたモニュメントを思い出しました。十和田市が、戦前、陸軍軍馬補給部があったことへのリスペクトが込められているそうです。

鉄道の街美里町の小牛田は、綺麗な花で覆われたSLの最適地ですね。 フラワー・ホースは、FRPでできていますので、「ローズSL」も作れそうですね。 おっしゃるように富良野のラベンダーのように「映えスポット」になるかもしれません。

学校施設は、あらゆるものが高規格・高水準で備わっています。

グラウンドも水捌けも良く平で、避難所や仮設住宅用地に最適です。

教室をバラ栽培所に転用し利活用すれば、一から作るのに比べ、大幅に初期費用が抑えられます。

ビニールハウスを一定温度に保つ熱量に比べ、中学校の教室や廊下をグリーンハウスとして利活用する方が、遙かに少ないエネルギー消費量で貯え、SDGs的に優れています。 解体してしまうのは、とても「もったいない」のです。これらのこと気に気づかせてくれる示唆に富むプレゼンテーションでした。

解体が決まっている中学校も利活用できそだと方針転換することになるかもしれませんね。

台湾水里郷と観光都市提携すると相乗効果が期待できますね。

調査取材をもとに、シックリ練られており、ロマンティックな想像力も感じさせるプレゼンテーションでした。

# 8月10日（日）表彰

## ■企画部門

一般社団法人美里町物産観光協会 会長賞 【広島県立三次高等学校 芸備線を盛り上げる会】



オリジナルグッズの販売やYouTube配信なども行っている「高校生が芸備線を盛り上げる会」の会長を努めているだけあって、発表は具体的で継続性を大切にしたものでした。

巨大プラレールプロジェクトは、美里町を再現した巨大プラレールワールドを 地域おこし協力隊を中心に住民全体が協力・団結し制作するものです。大人も巻き込む大きなウネリを感じます。

実現化を目指して、「美里町プラレールプロジェクト」の企画書を持って、素材の提供を販売元に掛け合ってみるのも面白いと思いました。

小牛田駅前公園で5月～10月の日曜日に開催されている小牛田朝市に新庄、石巻、仙台、鳴子温泉、松島などから、列車で特産品を貨物輸送し、小牛田朝市をさらに活性化する提言は、実効性も高いものです。

大きな朝市に発展するかもしれませんね。

図書館もあり、カフェもあり、学習もでき、地域の賑わいコミュニティである「小牛田ラウンジ」は、地元の方々はもとより、列車に乗ってでも行きたくなります。

「乗って、振って、美里ポイント」は、只見線沿線など各地で行われていて観光客から高評価を受けている手を振る行為を効果物化とする評価手法です。善意の行為を可視化して正当に評価しようとする素晴らしい提言ですね。

プレゼンの最後に提言された、高校生が芸備線を盛り上げる会で高校生サミットと住民サミットを実現化をさせた実績に基づく、プラットフォーム創設案に感動いたしました。これまで交流会で発表した企画案を 住民の皆さんに寄り添って、熱心に議論され出された提言も、旗振り役を担ってくださった方が転出すると意気消沈することもありました。

街の活性化を続けていくために本当に必要なシステムが、継続的に、実現を目指して議論していくプラットフォーム創設だと思います。このことをしっかり主張してくださったことで、交流会のプレゼンテーションの質が一段階上がりいました。

# 交流会OB ボランティアスタッフ

※敬称略

## ■ボランティア活動認定証 贈呈



## ■芝学園芝中学校・芝高等学校 交通研究部／成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部 OB 現・大学生の皆さんが駆けつけてください、3日間サポートをしてくださいました！





# 告知物

## ■開催PR動画

サイネージ、SNS対応

<https://youtu.be/GRuqktFZGU4>

## 【サイネージ】

仙台プロパン株式会社 小牛田営業所  
宮城県遠田郡美里町駅東二丁目1-2  
JR小牛田駅 東口  
期間：7/28（月）～8/9（土）



## ■ポスター掲出



◀ミニストップ古川駅前大通店



ヨークベニマル小牛田店▶

## ■X (旧Twitter)

【公式】全国高校生地方鉄道交流会  
<https://x.com/chitetsukoryu>

## ■YouTube

【公式】一般社団法人 全国高校生地方鉄道交流会  
<https://www.youtube.com/@chitetsukoryu>

## ■Facebook

一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会  
<https://www.facebook.com/chitetsukoryu>

## ■Instagram

【公式】全国高校生地方鉄道交流会  
<https://www.instagram.com/chitetsukoryu/>

## ■LINE

全国高校生地方鉄道交流会  
<https://lin.ee/N6WEAQh>

# フリー・パブリシティ

## ■公式よりRELEASE

4月15日

### PRESS RELEASE



2025年4月15日  
一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会  
代表理事 大満貴之

#### 鉄道のまち 美里町 ふたたび！

～交通の要衝 小牛田で開催～

#### 【第14回全国高校生地方鉄道交流会in宮城県美里町】

2025年8月8日(金)～10日(日)開催決定！

今年で第14回となる、全国高校生地方鉄道交流会(以下、地鉄交流会)を宮城県美里町の協力を得て、2025年8月8日(金)～10日(日)に開催します。

鉄道のまち 美里町 ふたたび！  
～交通の要衝 小牛田で開催～

全国高校生地方鉄道交流会は、高校生が中学校時代から地元を離れて、地域の人たちと交流しながら、地元をめぐるさまざまな地域資源を発掘し、発見するイベントです。今回の舞台は東北本線・磐越西線・石巻線、JR3線が交わる交通の要衝JR小牛田駅を有する宮城県美里町。「鉄道のまち 美里町」の名を全国に広めさせ、多くの人を説き飛ばす開催を期待します！

開催日 2025年 8/8.9.10 FRI SAT SUN

**参加校募集**

詳しくは[こちら](https://chitetsukoryu.org/2025misato/)

企画部門 ヘッダーマークデザイン権 授与

写真・動画部門 優秀作品は美里町・小牛田諸施設で掲出

詳細は[こちら](https://chitetsukoryu.org/2025misato/)

主催：一財團法人 全国高校生地方鉄道交流会  
実行：〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-19-3-202  
e-mail: info@chitetsukoryu.org TEL:03-6822-2835  
<http://chitetsukoryu.org>

1 / 4



地鉄交流会は、70年以上の歴史を持つ、私立成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部の教師が始めた、高校生・中学生による、地方創生の企画提案や写真の技術を競うもの。

全国に高校生たちが競い、鉄道を軸とした地域の活性化策を提案します。

提案者が、実際の鉄道活性化策として実現した実績も多数。

写真・動画部門では、優秀作が各地のPR媒体に採用されています。

これまで、秋田内陸縦貫鉄道、いすみ鉄道、一電琴電鉄道、三陸鉄道、のと鉄道、鹿島臨海鉄道、東京モノレール、JR北海道、2020年はコロナ禍のためにモート開催、富士急行、南海電気鉄道、阿武隈急行、昨年は伊賀鉄道で開催しました。

今回は宮城県美里町の協力のもと、美里町合併20周年協賛事業として、美里町・小牛田沿線各地を舞台に開催します。



今年のテーマは『歴史ある鉄道のまち・美里町』の観光資源を発掘し誇客に繋げるためには！』

地鉄交流会の通年を通してテーマ「地域創生と鉄道の役割」をどう絡めるのか、高校生・中学生ならではの柔らかい頭で提案してもらいたい。

東北本線・陸羽東線・石巻線、JR3線が交わる交通の要衝JR小牛田駅を有する「美里町」

「鉄道のまち 美里町」の名を全国に浸透させ、他府県からの観光客をどのように誇客するのか、各校生それぞれ異なる着眼点で考えられた施策に期待したい。

※画像は第13回地鉄交流会より



2 / 4



#### 第14回全国高校生地方鉄道交流会 開催案内

【開催名】 第14回全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町

【テーマ】 通年『地域創生と鉄道の役割』

第14回『歴史ある鉄道のまち・美里町』の観光資源を発掘し誇客に繋げるためには！』

【開催期間】 2025年8月8日(金)～10日(日)

【開催場所】 宮城県美里町

【開催内容】 8月8日(金)開会式

講演：福原總浩氏（元近畿日本鉄道株式会社 広報マン）

講演：武川健太氏（鉄道写真家・フォトエデュケーター／宮城県石巻市在住）

8月9日(土) 沿線調査研究・写真・動画撮影

8月10日(日) 企画部門プレゼンテーション

表彰式：企画部門・写真・動画部門

講演：鐵坊主氏（鉄道解説系YouTuber・鉄道アーティスト）

【主催】 一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会

公式 HP <https://chitetsukoryu.org/>

公式 Facebook <https://www.facebook.com/chitetsukoryu>

公式 X <https://x.com/chitetsukoryu>

公式 Instagram <https://www.instagram.com/chitetsukoryu/>

公式 YouTube <https://www.youtube.com/chitetsukoryu>

【協力】 宮城県美里町 <https://www.town.misato.mi.yagi.jp/>

宮城県美里町地域おこし協力隊

【概要】 <https://chitetsukoryu.org/2025misato/>



3 / 4



#### 第14回全国高校生地方鉄道交流会 各部門

※参考写真：第13回地鉄交流会より

■企画部門

【優秀賞】 ヘッダーマークデザイン権 授与



■写真・動画部門

【優秀作品】 美里町・小牛田諸施設等で掲出予定



■全部門共通

【賞状】 硬券を模した賞状を授与 \*硬券とは鉄道会社の乗車券を指します



問い合わせ先：一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 事務局

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-19-3-202

e-mail: [info@chitetsukoryu.org](mailto:info@chitetsukoryu.org) TEL:03-6822-2835

広報担当：奥山令子

4 / 4

# フリー・パブリシティ

■公式よりRELEASE

7月10日

PRESS RELEASE



2025年7月10日

一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会

代表理事 大溝貴之

交通の要衝小牛田駅を有する鉄道のまち『宮城県美里町』

高校生・中学生が企画で斬り込む！

【第14回全国高校生地方鉄道交流会in宮城県美里町】

2025年8月8日(金)～10日(日)開催！

今年で第14回となる、全国高校生地方鉄道交流会(以下、鉄道交流会)を宮城県美里町の協力を得て、  
2025年8月8日(金)～10日(日)に開催します。



1 / 5



鉄道交流会は70年以上の歴史を持つ、私立成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部の教師が始めた、  
高校生・中学生による、鉄道を軸とした地域の活性化企画を発表する大会。

対象地域に高校生たちが赴き、地元高校や地域の方々と交流し、フィールドワークを通じ、地方創生の企画提案を行います。

提案が、実際の鉄道活性化策として実現した実績も多数。

写真部門・動画部門も同時に開催し、優秀作が各地のPR媒体に採用されています。

これまで、秋田内陸線賀茂駅・さみ鉄道、一畑電車鉄道、三陸鉄道・のと鉄道、鹿島臨海鉄道、東京モノレール、JR北海道、2020年はコロナ禍のためモード開催、富士急行、南海電気鉄道、ア武藏急行、

昨年は伊賀鉄道で開催しました。

第14回は宮城県美里町の協力のもと、美里町合併20周年記念事業として、美里町・小牛田沿線各地を舞台に開催。

参加校が決定しました！



今年のテーマは『歴史ある鉄道のまち・美里町』の観光資源を発掘し誘客に繋げるためには！』

東北本線・陸羽東線・石巻線、JR3線が交わる交通の要衝 JR小牛田駅を有する「鉄道のまち 美里町」の名を全国に  
漫透させ、地元からの観光客をより多く誘客するか、  
鉄道交流会の通過を通じたテーマ「地域創生と鉄道の役割」をどう絡めるのか、  
各校生それぞれ異なる着眼点で考えられた施策に期待します！

■多彩なゲストが高校生・中学生たちを迎える！



■鉄道写真家 武川健太氏



■元近鉄広報マン 福原松浩氏



■鉄道解説系ユーチューバー 嶽坊主

2 / 5



第14回全国高校生地方鉄道交流会 開催案内

\*イベント内容は変更になる場合がございます。

【開催名】第14回 全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町

【テーマ】 伝統地域活性と鉄道の役割

第14回歴史ある「鉄道のまち・美里町」の観光資源を発掘し誘客に繋げるためには！』

【開催期間】2025年8月8日(金)～10日(日)

【開催場所】開催内容

■8月8日(金) 13時～

美里町立美里中学校内 1F 「みさとホール」(宮城県遠田郡美里町新畜山8番地1)  
小牛田不動堂、南郷の3つの学校を統合して今年4月1日に開校したばかりの  
美里中学校内のホール。地域事業としての使用は初。

開会式

講演：小南友里氏（美里町 産業振興課 主幹 兼 商工振興係員 兼 観光振興係員）

「鉄道と地元産業との繋がり～今までこれまで～」

講演：武川健太氏 (鉄道写真家・フォトデザイナー/宮城県石巻市在住)

「福幸むたらす鉄道と人の力」写真展として鉄道と関わり、なにができるのか？

講演：福島祐吉氏 (元近畿日本鉄道株式会社 広報マン)

「阪神に流れ少子化、近鉄の人物像が縮みだるまで、そして新たな挑戦～

「運命の分岐点を経て～一鉄道と共に歩んだ50年」

講演：小野田一氏 (東日本旅客鉄道株式会社 東北新幹線プロジェクトマネジメントオフィス)

元高松鉄道研究部長のJR 社員語る「鉄道の生き方」

動画展示＆デジタルストーリング＜協力：松浦隼テック株式会社＞

PM:沿線調査研究・写真・動画撮影

■8月9日(土)

於：宮城県遠田郡美里町小牛田農林高等学校 (宮城県遠田郡美里町牛飼伊勢堂裏30)

AM:木下駅前(宮城県远田郡美里町牛飼伊勢堂裏30)

動画展示＆デジタルストーリング＜協力：松浦隼テック株式会社＞

PM:沿線調査研究・写真・動画撮影

■8月10日(日) 10時～ 一般聴講可・LIVE配信あり→→→



於：美里町役場東側地域交流センター 1F 多目的ホール

(宮城県遠田郡美里町牛飼二丁目17番地4)

企画部門・プレゼンション

表彰式：企画部門、写真・動画部門

講演：鐵坊主氏 (鉄道解説 YouTuber・鉄道アナリスト)

「鉄道まちづけの方向性～各校の発表を受けての今後の展開」

第14回全国高校生地方鉄道交流会 開催案内

【開催名】第14回 全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町

【テーマ】 伝統地域活性と鉄道の役割

第14回歴史ある「鉄道のまち・美里町」の観光資源を発掘し誘客に繋げるためには！』

【開催期間】2025年8月8日(金)～10日(日)

【開催場所】開催内容

■8月8日(金) 13時～

美里町立美里中学校内 1F 「みさとホール」(宮城県遠田郡美里町新畜山8番地1)

小牛田不動堂、南郷の3つの学校を統合して今年4月1日に開校したばかりの

美里中学校内のホール。地域事業としての使用は初。

開会式

講演：小南友里氏（美里町 産業振興課 主幹 兼 商工振興係員 兼 観光振興係員）

「鉄道と地元産業との繋がり～今までこれまで～」

講演：武川健太氏 (鉄道写真家・フォトデザイナー/宮城県石巻市在住)

「福幸むたらす鉄道と人の力」写真展として鉄道と関わり、なにができるのか？

講演：福島祐吉氏 (元近畿日本鉄道株式会社 広報マン)

「阪神に流れ少子化、近鉄の人物像が縮みだるまで、そして新たな挑戦～

「運命の分岐点を経て～一鉄道と共に歩んだ50年」

講演：小野田一氏 (東日本旅客鉄道株式会社 東北新幹線プロジェクトマネジメントオフィス)

元高松鉄道研究部長のJR 社員語る「鉄道の生き方」

動画展示＆デジタルストーリング＜協力：松浦隼テック株式会社＞

PM:沿線調査研究・写真・動画撮影

■8月9日(土)

於：宮城県遠田郡美里町小牛田農林高等学校 (宮城県遠田郡美里町牛飼伊勢堂裏30)

AM:木下駅前(宮城県远田郡美里町牛飼伊勢堂裏30)

動画展示＆デジタルストーリング＜協力：松浦隼テック株式会社＞

PM:沿線調査研究・写真・動画撮影

■8月10日(日) 10時～ 一般聴講可・LIVE配信あり→→→



於：美里町役場東側地域交流センター 1F 多目的ホール

(宮城県遠田郡美里町牛飼二丁目17番地4)

企画部門・プレゼンション

表彰式：企画部門、写真・動画部門

講演：鐵坊主氏 (鉄道解説 YouTuber・鉄道アナリスト)

「鉄道まちづけの方向性～各校の発表を受けての今後の展開」

■企画部門・プレゼンション

表彰式：企画部門、写真・動画部門

講演：鐵坊主氏 (鉄道解説 YouTuber・鉄道アナリスト)

「鉄道まちづけの方向性～各校の発表を受けての今後の展開」

第14回全国高校生地方鉄道交流会 開催案内

※参考写真：第13回鉄道交流会より

■企画部門

【最高秀賞】 ベッドマークデザイン権 授与



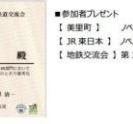
■写真・動画部門

【優秀作品】 美里町・牛田諸施設等で提出予定



■企画部門・共通

【賞状】 硬券を模した賞状を授与 ※世界初! (事務局開く) + 硬券とは鉄道会社の乗車券を指します



問い合わせ先：一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 事務局

〒145-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-19-3-202

e-mail: info@chitetsukoryu.org TEL.03-6822-2835

広報担当：奥山令子

3 / 5

5 / 5

33

# フリー・パブリシティ

■ PressWalker

4月15日



無料のプレスリリース  
配信サービス

Q キーワードから探す

すべて デジタル 観光・レジャー エンタメ ホーム 食・グルメ

PressWalker > 一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 > 第14回 全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町

## 第14回 全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町

一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会

© 2025.04.15 11:09

エンタメ ライフスタイル 自由体など

### 2025年8月8日(金)~10日(日)開催決定!!

「鉄道のまち 美里町」ふたたび! ~交通の要衝 小牛田で開催~

今年で第14回となる、全国高校生地方鉄道交流会(以下、地鉄交流会)を宮城県美里町の協力を得て、2025年8月8日(金)~10日(日)に開催します。



第14回地鉄交流会ポスター

地鉄交流会は70年以上の歴史を持つ、私立成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部の教師が始めた、高校生・中学生による、地方創生の企画提案や実践の技術を競うもの。

全国に高校生たちが競って、鉄道を軸とした地域の活性化策を提案します。

提案が、実際の鉄道活性化策として実現した実績も多数。

写真・動画部門では、優秀作が各地のPR媒体に採用されています。

これまで、秋田内陸縦貫鉄道、いすみ鉄道、一般電車鉄道、三陸鉄道、のと鉄道、函館臨海鉄道、東京モノレール、JR北海道、2020年はコロナ禍のためリモート開催、富士急行、南海電気鉄道、阿武隈急行、昨年は伊賀鉄道で開催しました。

今回は宮城県美里町の協力のもと、美里町合併20周年協賛事業として、美里町・小牛田沿線各地を舞台に開催します。



今年のテーマは『歴史ある「鉄道のまち 美里町」の観光資源を発掘し、誘客に繋げるためには!』

地鉄交流会の通年を通じたテーマ「地域創生と鉄道の役割」をどう絡めるのか、高校生・中学生ならではの柔らかい頭で提案してもらいたい。

東北本線・陸羽東線・石巻線・JR3線が交わる交通の要衝JR小牛田駅を有する「美里町」

「鉄道のまち 美里町」の名を全国に浸透させ、他府県からの観光客をどのように誘客するのか、各校学生それぞれ異なる着眼点で考えられた施策に期待したい。

#### 【第14回 全国高校生地方鉄道交流会 開催案内】

■開催名: 第14回 全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町

■テーマ: 通年《地域創生と鉄道の役割》

第14回「歴史ある鉄道のまち 美里町」の観光資源を発掘し誘客に繋げるためには!】

■開催期間: 2025年8月8日(金)~10日(日)

■開催場所: 宮城県美里町

■開催内容

・8月8日(金) 開会式

講演: 岩原 稔浩氏 (元近畿日本鉄道株式会社 広報マン)

講演: 武川 健太氏 (鉄道写真家・フォトエデュケーター/宮城県石巻市在住)

・8月9日(土) 沿線調査研究、写真・動画撮影

・8月10日(日) 企画部門プレゼンテーション

表彰式: 企画部門、写真、動画部門

講演: 鐵坊主氏 (鉄道解説系YouTuber、鉄道アリスト)

■主催: 一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会

公式 HP <https://chitetsukoryu.org/>

公式 Facebook <https://www.facebook.com/chitetsukoryu>

公式 X <https://x.com/chitetsukoryu>

公式 Instagram [https://www.instagram.com/chitetsukoryu/](https://www.instagram.com/chitetsukoryu)

公式 YouTube <https://www.youtube.com/@chitetsukoryu>

■協力

・宮城県美里町 <https://www.town.misato.miagi.jp/>

・宮城県美里町地域おこし協力隊

■第14回全国高校生地方鉄道交流会 構成

<https://chitetsukoryu.org/2025misato/>

#### 【第14回 全国高校生地方鉄道交流会 各部門】

■企画部門 【優秀校】 ヘッドマークデザイン権 授与



イメージ写真: 第13回地鉄交流会より

■写真・動画部門 【優秀作品】 美里町・小牛田諸施設等で掲出



イメージ写真: 第13回地鉄交流会より

■全部門共通 【賞状】 硬券を模した賞状を授与 \*硬券とは鉄道会社の乗車券を指します



イメージ写真: 第13回地鉄交流会より

◇お問合せ

一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 事務局

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-19-3-202

TEL.03-6822-2835

e-mail : [info@chitetsukoryu.org](mailto:info@chitetsukoryu.org)

# フリー・パブリシティ

■PressWalker

7月10日



Q キーワードから探す

© 2025.07.10 12:42

エンタメ 自治体など ライフスタイル

## 2025年8月8日（金）～10日（日）開催！【参加校決定】

交通の要衝小牛田駅を有する鉄道のまち『宮城県美里町』高校生・中学生が企画で斬り込む！

今年で第14回となる、全国高校生地方鉄道交流会(以下、地鉄交流会)を宮城県美里町の協力を得て、2025年8月8日(金)～10日(日)に開催します。



第14回地鉄交流会ポスター

地鉄交流会は70年以上の歴史を持つ、私立成城中学校、成城高等学校、鉄道研究部の創始者が始めた、高校生・中学生による、鉄道を軸とした地域の活性化企画を発表する大会。

対象地域に高校生たちが駆け、地元高校や地域の方々と交流し、フィールドワークを通じ、地方創生の企画提案を行います。

提案が、実際の鉄道活性化策として実現した実績も多数。

写真部門、動画部門同時に開催し、優秀作が各地のPR媒体に採用されています。

これまで、秋田内陸鐵道、いすみ鉄道、一畑電車鉄道、三陸鉄道、のと鉄道、鹿島臨海鉄道、東京モノレール、JR北陸道、2020年はJR北海道のリミート開通、富士急行、南海電気鉄道、阿波急行、昨年は伊賀鉄道で開催しました。

第14回は宮城県美里町の協力のもと、美里町合併20周年事業として、美里町・小牛田沿線各地を舞台に開催。

参加校が決まりました！



美里町合併20周年 口コミ

今年のテーマは『歴史ある鉄道のまち、美里町』の観光資源を発掘し読者に繋げるためには！』

東北本線、陸羽東線、石巻線、JR東北線が交わる交通の要衝小牛田駅を有する『鉄道のまち 美里町』の名を全国に通達させ、他の団体からの競合などをどのように説明するのか、地鉄交流会の通年を通してしたテーマ『地域創生と鉄道の役割』をどう語めるのか、各校生徒それぞれ異なる視点で考えられた施策に期待します！

■多彩なゲストが高校生・中学生たちを迎える！



■鉄道写真家 武川健太

■元近鉄広報マン 福原稔浩

■鉄道解説系ユーチューバー 織坊主氏

講演者ゲスト

【開催場所・開催内容】

■8月8日（金）13時～

於：美里町立美里中学校内 1F 「みさとホール」（宮城県遠田郡美里町字新峠山8番地1）小牛田、不動堂、南郷の3つの中学校が統合して今年4月1日に開校したばかりの美里中学校内のホール。地域事業としての使用は初。

開会式

講演：小南友里氏（美里町 産業振興課、主幹 兼 商工振興係長 兼 観光振興係長）  
「鉄道と地元企業との開拓～今までとこれから～」

講演：武川健太氏（鉄道写真家、フォトエデュケーター／宮城県石巻市在住）  
「撮影もたらす鉄道と人の力」 写真家として鉄道と開拓、なにができるのか？  
～好きな生きかずアイデアと、伝わる写真の撮り方～

講演：福原稔浩氏（元近畿日本鉄道株式会社 広報マン）  
～阪急に憧れながら少年、近畿の名物広報マンになるまで。そして新たな挑戦～  
「運命の分岐点を越えて——鉄道と共に歩んだ50年」

講演：小野塚直一氏（東日本旅客鉄道株式会社 東北建設プロジェクトマネジメントオフィス）  
元高校鉄道研究部部長のJR社員が語る「わたしの地図の読み解き方」（仮）

グループトークセッション：美里町・各事業者様との交流会

■8月9日（土）

於：宮城県小牛田農林高等学校（宮城県遠田郡美里町牛飼伊勢堂裏30）

AM:ホスト校「宮城県小牛田農林高等学校（生徒会）」交流会  
新陸車展示＆デモンストレーション <協力：新陸車テック株式会社>  
PM:沿線調査研究、写真・動画撮影

■8月10日（日）10時～

於：美里町役場 駅東地域交流センター 1F 多目的ホール  
(宮城県遠田郡美里町駅東二丁目17番地4)

企画部門プレゼンテーション

表彰式：企画部門、写真・動画部門

講演：織坊主氏（鉄道解説YouTuber、鉄道アナリスト）

「鉄道まちづくりの方向性へ各校の発表を受けての今後の展開」

一般講話可・LIVE配信あり→→→



鉄道【公式】YouTubeチャンネル

【第14回 全国高校生地方鉄道交流会 各部門】

■企画部門 【 優秀校 】 ヘッドマークデザイン権 授与



イメージ写真：第13回地鉄交流会より

■写真・動画部門 【 優秀作品 】 美里町・小牛田諸施設等で撮出



イメージ写真：第13回地鉄交流会より

■賃貸 【 貸券 】 硬券を模した貢券を授与



第14回 貢状

◇お問合せ

一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 事務局

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-19-3-202

TEL.03-6822-2835

e-mail : info@chitetsukoryu.org

【主催】一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会

公式 HP <https://chitetsukoryu.org/>

公式 Facebook <https://www.facebook.com/chitetsukoryu>

公式 X <https://x.com/chitetsukoryu>

公式 Instagram <https://www.instagram.com/chitetsukoryu/>

公式 YouTube <https://www.youtube.com/@chitetsukoryu>

【後援】

国土交通省、文部科学省、宮城県、宮城県教育委員会、美里町、美里町教育委員会

東日本旅客鉄道株式会社小牛田統括センター、宮城県私立中学高等学校連合会

一般社団法人日本民営鉄道協会、一般財団法人東京私立中学高等学校協会

一般社団法人美里町物産観光協会、NHK仙台放送局、株式会社宮城テレビ放送

knb東日本放送、河北新報社、株式会社大崎タイムズ社、日刊工業新聞社

【協力】宮城県美里町 <https://www.town.misato.miagi.jp/>

宮城県美里町地域おこし協力隊

【概要】 <https://chitetsukoryu.org/>



鉄道【公式】HP

【第14回 全国高校生地方鉄道交流会 開催案内】

【開催名】 第14回 全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町

【テーマ】 通年『地域創生と鉄道の役割』

第14回『歴史ある鉄道のまち、美里町』の観光資源を発掘し読者に繋げるためには！』

【開催期間】 2025年 8月 8日(金)～10日(日)



# フリー・パブリシティ

## ■東洋経済ONLINE

8月18日

2025/08/31 10:13 「鉄道の町」どう活性化？高校生たちの斬新な発想 宮城県美里町、JR東は通勤ライナーで利便性向上 | ...

印刷する 編集する

### 「鉄道の町」どう活性化？高校生たちの斬新な発想 宮城県美里町、JR東は通勤ライナーで利便性向上

大庭正臣 | 東洋経済 稲吉

2025/08/31 10:13



JR東北本線の宮城県美里町の駅構内。JR東日本が運営する通勤ライナーが停車している。

鉄道を使ってどうやって活性化を図るか、若い人たちの知恵を貸してほしい——。「鉄道の町」を自認する宮城県美里町（みさとまち）の町長に応え、企画の中心・高橋生が美里町に実施した。彼らは自分の足で町内を歩いて体験し、列車に乗って利便性を確認し、その結果を踏まえたアイデアを8月10日に披露した。どんな提案が出来たのか。

#### 「鉄道」を資源に町の活性化を

真珠港の北埠頭に位置する美里町は2006年に小田原（ごとく）町と南郷町が合併して誕生した。町全体に田園風景が広がる美しい町だ。

町の沿岸部は農業である。平坦な土地と豊かな水を生かし、水田や漁場は町の命の7割を占める。一方で、ベッドタウンとしての機能を持ち、隣接する石巻市や人通り、さらに山形県立C45幹線の沿線にあらわ山台の渋滞・渋滞によって止まる人が多く、宅地開発が進んだ。

現在の人口は約2万2000人、全国で起立しているいのち高齢化、人口減少という流れには逆らはず。人口は合併前の1980年代の約2万9000人をピークに減少が続く。ペトロクラフ効果による転入者だけでは戻れない。移住可能なまちづくりは急務であり、県内外から定住者や転入者が呼び込む必要がある。

町の特徴ホームページには新潟名所として「山形県」「温泉宿古川宿」となどを紹介しており、町内にはバッヂ、マグネットなどの特産品もあるが、全国的な知名度はあるとは言いたい。そこで、美里町が目をつけたのが、町内を経由するJR東北本線。

美里町の駅舎はJR東日本の小田原駅の一回廊の構造と同様に設置された由来ある駅だ。1912年には石巻駅、1913年には陸羽線が開業し、小田原は3駅抜ける駅道の要衝となつた。

多くの町が行き交うことで駅周辺の賑わいが生まれ、鉄道駅周辺の駅舎が小牛田に取り残すようになった。1982年の東北新幹線開業以前は鉄道の命脈としての機能は保たれていたが、それでも多くの駅舎が取り入れる小牛田は、県内にいたい町と並び鉄道の命脈であることは変わらない。

https://toyokoza.net/articles/print/898926

1/6

2025/08/31 10:13 「鉄道の町」どう活性化？高校生たちの斬新な発想 宮城県美里町、JR東は通勤ライナーで利便性向上 | ...  
るともうう。それがイブニングウェイである。

#### 【全国の高校生書き「誘客」案募る】

JR東日本は「これは人気減少という地域に悩む問題に対してJR東日本が出した1つの答えです。言い方を変えればJR東日本から貢献への挑戦です」と語る。

利用者の多いだけがイブニングウェイは廃止となる。しかし、利用料が高騰しないほかの理由も含めてちゃんとさせようという策がいるはずだ。そうならず美里町の面接が決まり、通り、通学・通学手段としての利便性が向上し定住人口の増加につながる。「この現象は必ず起きる信じています」（美里町長）。

そして次の展開で、JR東日本は「高校生たちの斬新な発想」を公募するイベントである。主催者は一般社団法人全日本高校生地域活性化連絡会議会、このイベントは2012年から毎年夏に全国各地で開催され、今年で14回目を迎える。「全国高校生」と銘打つが、中学生の場合は参加料を支払っている。「駅の町のまち 美里町」の名を全国に広めさせ、他府県からの観光客をどのように惹き寄せるのか、学生ならではのまちづくりを実現してほしい」と相澤さん。司会が駅の駅員を務める。

交流会は鉄道を通じて高校生の社会性の向上・キャリアデザインの構築に寄与することを目的とするが、鉄道事業者や自治体にもメリットがある。2024年は伊豆鉄道をテーマに三重県伊豆市で開催された際には公共交通内で選ばれた生徒の写真が、市が発行するポスターに掲載された。

今回の交流会は8月8~10日の3日間、町内の会場で行われた。1日目は講演が主体で美里町やJR東日本の担当者が町の概要や鉄道との繋がりについて学ぶ。2日目は、牛丼串はJR東日本の高橋生との交流、午後は鉄道研究や写真撮影を行った。

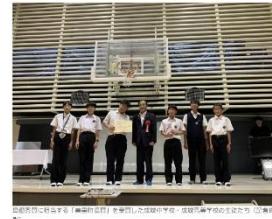
そして3日目は本番だ。「うまく表現できなくて思いました。がんばりました」と交流会の入賞者代表理事があいさつ。全国から参加した10校以上のプレゼンテーションが始まった。

#### 【最高賞は「星の街」】

各校が細かに渡りながら各自が制作した資料がスクリーンに映し出された。1校当りの持ち時間は8分。内側としてはJR東光列車の復活、地元の特産物をつかった駅の開業などものから、進行が終了した駅台急行「ラッシュアベ」の車両を説いて列車ホテルとして活用する、広告収益内に登録して物販として販売セミナーをするなどアイデアが出ていた。

すべての発表が終り、横濱市長やJR東日本の中澤所長ら5人の審査員による審査が行われた。なお、記者も審査員の1人として審査に加わった。

最高賞を獲得した「美里町長篇」は成城中学校・成城高等学校（東京都）。空気が溶んでいて高層建物が少ないという環境を生かし、「美里町は『星の街』として全国に売り出しだよ」と発表した。



最高賞に輝いた「星の街」を手がけた成城中学校・成城高等学校の生徒たち（右から3人目）

深夜、見慣らしの良い駅所に列車を停車せず、車内から夜空の星を観察する。席ととなった中学校の生徒を宇宙館連携校にするといったアイデアだ。また、老若共存している駅周辺の建物を移転する際には駅前の空き地に移設され、駅舎設置や駅舎所を併設し公共交通機関と連携するなど、これまでの生徒は座上で熱く語った。

https://toyokoza.net/articles/print/898926

3/5

2025/08/31 10:13 「鉄道の町」どう活性化？高校生たちの斬新な発想 宮城県美里町、JR東は通勤ライナーで利便性向上 | ...



JR東日本・牛丼串・立派な駅舎がそびえ立つ小牛田駅（宮城県美里町）

美里町度量衡課の小牛田生は「美里町の駅のみではなく他の駅でも異なる駅の特徴の特徴点であること、駅の町として標示された豊かな歴史・文化、そして地域住民に気軽に鉄道への愛着の点だ」と話す。「この強みを生かして低い減少や年齢層偏在などの課題を見克したり」とも。

鉄道の命として美里町のブランド力が全国に広がれば観光客が増え、地域で観光事業にかかる雇用が増える。鳴鹿産業の駅丸も助ける。そして、資源がJR東日本として再創造されればダイヤが改善され、渋滞・渋滞によっての利便性が向むく。

それに伴って定住人口が増える。美里町の駅道しかるの割合は大きい。

#### 【異例】の運動特急が登場

これまで町内では鉄道を活用したイベントがいくつも行われてきた。小牛田駅を拠点に山田昇陽やミ・SLによる「鉄エス」や「牛丼串」等で開催されているほか、年間で各学年のお祭りや盆踊りが開催される「てつげん祭り」も毎年開催される。JR東日本の駅丸と小牛田駅をつなぐ「牛丼串」が開催されたことを機に、駅丸と小牛田駅をつなぐ駅道が開通した。

そして2022年夏、まずJR東日本が動いた。7月10日から東北本線小牛田駅・牛込駅で特急「イブニングウェイ」の運行が始まった。牛込駅を拠点に山田昇陽やミ・SLによる「鉄エス」が開催される。仙台駅・牛込駅間の運賃は490円で通常よりも10円程度割引だった。SLのような運賃別注ではなく、運動特急の運賃込みで乗った駅券が買取れる制度である。

「JR東日本が運営しているので運営料がかかる」という意見がある。しかし、「乗車料金が減り続けているような地方で運営で列車本数を増やすのは異例だ」として、加入するところは専門会社で運営面倒だったといつ。



写真：トヨコザウルス（JR東日本）

運営会社は地元出身。子供の頃から駅員で走る車を見て育った。「駅員の方は古く良き時代の振舞を大事にしていかないと思う。しかしノルマタスクが多めで到底維持していくのは厳しい」。一方で、「人口が少ないので少ないなりに打合せはあ

2025/08/31 10:13 「鉄道の町」どう活性化？高校生たちの斬新な発想 宮城県美里町、JR東は通勤ライナーで利便性向上 | ...  
共にサービスを提供する。さらには現在は公園に専用保存されているSLの車両をこの施設内に移設させ、屋上は展望デッキとして車両基地や駅の田舎風景を一望できるようにはどうかという。

次点が担当する「JR東日本小牛田駅総合センター所長室」も受賞したのは濃道商店街商店（人気店）。公園のSLと駅からやや離れた場所で立ちあわせ台を創設し、移設し、駅周辺の店舗を借りて展示する。駅周辺斜面を複数作るという提案を行った。

また、駅の近くにあり現在は使われていないNTTの施設を宿泊施設や観光施設内所として活用する。席ととなった中学校を駅の特産品であるハラミに因るといふアイデアも出た。

#### 【次なる町の行方は？】

存続危機に悩むJR普速線の沿線にあるJR普速立三次高崎学校から生徒が単身で参画してプレゼンを行い、第3位に相当する「美里町度量衡課が運営する『星の街』」を手がけた成城中学校・成城高等学校の生徒たち（右から3人目）

普羅の力で「高崎をサムライなさよな」という言葉でイベントを行ない沿線住民が団結するきっかけになったという。「住込み、住み回り、JR東日本本が集まらずソーシャルメディアを活用するプラットフォームを作ることでソノマの実現につなぐ。普羅を育てたことは美里町でもできる」とこの生徒は座上で熱く語った。



高崎を普羅で熱く「高崎をサムライなさよな」と手がけた成城中学校・成城高等学校の生徒たち（右から3人目）

これらの発表を聽いたJR普速立三次高崎学校からは「よく調べている」「創造力も知らないことが多い」という声が聞かれた。横濱市長も「新しいアイデアが多くありました」と至極の気持を述べた。一方で、後に聞いた松本だが、「実現するとしたらいかがかるんだ」「ソーシャルメディアで動かすのが難しい」という意見が飛び出された。

しかし、生徒たちは自分のアイデアが実現可能かどうかよりも重要なことがある。それは、このイベントを契機として美里町が次にどのような行動に出るか、住みたがりどのような行動を起こすかだ。

イベントをやってそれで終わりにしてはいけない。その真似で、今回の交流会は「全国の高校生から美里町への接戦」といえる。



東洋  
経済  
ONLINE

編集部 ピー・ビーズ

© THE ORIENTAL ECONOMIST

東洋経済STORY

法人向け

セミナー

リポート

東洋経済オンライン

東洋経済オンライン

東洋経済オンライン

https://toyokoza.net/articles/print/898926

4/5

3/5

# フリー・パブリシティ

## ■ dmenuニュース

8月18日

dmenu ニュース



dメニュー > ニュース > 経済 > 記事詳細

### 「鉄道の町」どう活性化？高校生たちの斬新な発想

東洋経済オンライン 8月18日(月) 4:30

鉄道を使ってどうやって町を活性化させるか、若い人たちの知恵を貸してほしい——。「鉄道の町」を自認する宮城県美里町（みさとまち）の呼びかけに応え、全国の中・高校生が美里町に集結した。彼らは自分の足で町内を歩いて様子を観察し、列車に乗って利用状況を確認し、その結果を踏まえたアイデアを8月10日に披露した。どんな提案が出されたのか。



「鉄道の町」どう活性化？高校生たちの斬新な発想

### 「鉄道」を資源に町の活性化を

宮城県の北東部に位置する美里町は2006年に小牛田（こごた）町と南郷町が合併して誕生した。町全体に田園風景が広がる美しい町だ。

町の基幹産業は農業である。平坦な土地と豊かな水源を生かし、水田や畑は町の面積の7割を占める。一方で、ベッドタウンとしての側面も持つ。隣接する石巻市や大崎市、さらには列車で45分程度の距離にある仙台市の通勤・通学圏として定住する人が多く、宅地開発が盛んだ。

## ■ 大崎タイムス 8月17日

大崎タイムス

旧知の2人コンサート

アーティストを発表する企画

音楽

# フリーパブリシティ

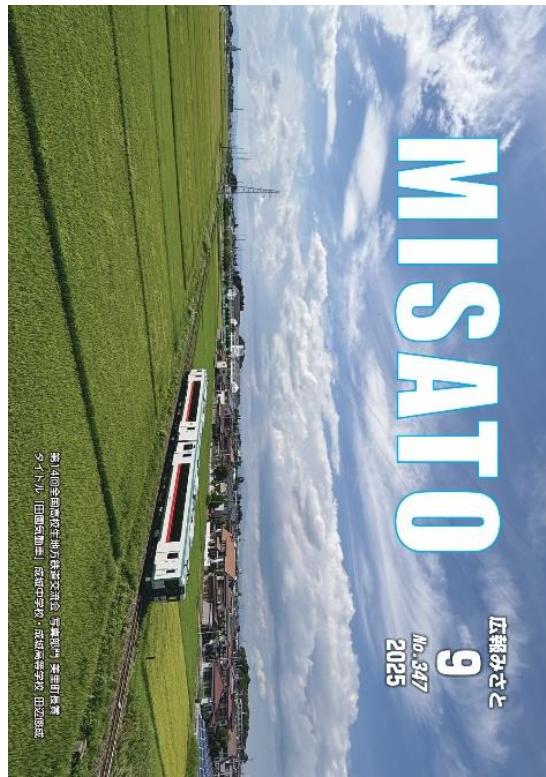
■河北新報 8月20日



## ■宮城県美里町地域おこし協力隊通信 「みさすて」令和7年9月第13号



■広報みさと 9月号



## 美里町合併20周年記念事業 第14回 全国高校生地方鉄道交流会

▶一般社団法人美里町物販観光協会会長賞  
東京農業大学第二高等学校、  
中等部  
宮澤 遼  
→進行担当  
「集結と発見の地、美里」  
▲エンターワークス  
はこちらから  
企画部門

- 成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部
- 東日本旅客鉄道株式会社
- 小田牛綿搾センター所長賞
- 古川学園高等学校
- 成城中学校・成城高等學校 鉄道研究部
- 東日本旅客鉄道株式会社
- 小田牛綿搾センター所長賞
- 清洲南高等学校 鉄道研究部
- 一般社団法人愛知県博物館振興会会長賞

# フリー・パブリシティ

■鉄道チャンネル 9月6日

## 鉄道チャンネル

トップページ > コラム

> 「歴史ある鉄道のまちの未来を高校生がつくる！」14回目の地鉄交流会、JR3線が集まる宮城県美里町で開催【レポート】

コラム 鉄道の慶應

### 「歴史ある鉄道のまちの未来を高校生がつくる！」14回目の地鉄交流会、JR3線が集まる宮城県美里町で開催【レポート】

2025.09.06



鉄道のまち健在。小牛田駅の留置線にはキハ110気動車や、2015年に鉄道友の会のローレル賞を受賞したHB-E210系のほか、さまざまな事業用車両が並びます（筆者撮影）

鉄道を愛する高校生の情熱は猛烈、酷暑の2025年夏も変わらない！　迎えて14回目の「全国高校生地方鉄道交流会（地鉄交流会）in宮城県美里町」が2025年8月8～10日、宮城県北の美里町で開かれました。地元東北のほか、関東や遠くは広島から駆け付けた全国10校が利用促進や地域振興のアイデアを競いました。

東北線から陸羽東線（奥の細道湯瀬むりライン）、石巻線が分岐する美里町は明治の昔からの鉄道のまち。玄関口の小牛田駅は国鉄時代、幾回かなどの現場機関が置かれ、C58などのドラフト音を追って“小牛田詠”で、に掛け暮れたファンも少なくありません。

そんな小牛田には、今も鉄道遺産がいっぱい。交流会でも、「駅の転車台に、町内で静態保存されるSL（G11367）を乗せて、地域のシンボルに」など、鉄道ファンなら思わずひざを打つ提案がありました。

さらに、交流会ラストにはサプライズの発表も。地鉄交流会は2026年の次回から、第2章に新展開します。



参加全校で記念撮影。2026年の「SUMMERカンファレンス」での再会を約束しました（写真：全国高校生地方鉄道交流会）

### 鉄研のインターハイ

高校生のクラブ活動で、全国大会のような発表の場のない鉄研（鉄道研究会）にスポットライトを当て、一部校が『鉄研のインターハイ』を発想。2012年に秋田県の秋内陸線鉄道で初開催後、各地の地鉄をめぐる形で回を重ねてきたのが地鉄交流会です。

ここへきての新しい動き、それは開催地が交流会誘致に乗り出したことです。100人近い高校生が一定期間、地域に滞在して情報発信すれば、相応のPR効果を期待できます。

開催地の美里町は地域おこし協力隊の活動で「鉄道によるまちづくり」を取り組みます。美里町の協力隊は交流会を誘致し、遠来の高校生を歓迎しました。

### 鉄道3線が十字にクロス

美里町と鉄道。小牛田駅の開業は明治中期の1890年4月。私鉄の日本鉄道が岩切（仙台市）～一ノ関（岩手県）を延伸したのに伴い小牛田駅が誕生しました。

大正年間には、仙北軽便鉄道（現・石巻線）と陸羽線（現・陸羽東線）が開通。小牛田は東北線を真ん中にローカル2線が分岐する、鉄道のまちとして発展しました。

仙台～小牛田は43.2キロ、中間10駅、所要44分。小牛田は、仙台都市圏・通勤圏の一端の北端駅といえそうです。

### 深夜までプレゼン資料を練る

3日間の地鉄交流会、初日は美里中学校で鉄道のプロ3人の話を聞きました。そのお一人が元近鉄の名物広報マン福原稔浩さん。鉄道を生かした地域づくりを説きました。



元近鉄名物広報マンの福原さんは参加校のワークショップではプロの顔でアドバイス（写真：全国高校生地方鉄道交流会）

2日目は地元・県立小牛田農林高校との交流会。鉄道の保線作業などの隠れた主役、線路と道路の両方を走れる軌陸車のデモンストレーションのプログラムも組まれました。

参加校は、発表内容を締め切りギリギリまでアップデート。交流会事務局によると、参加全校がプレゼン資料を差し替えました。

最終日は、小牛田駅近隣の地域交流センターでプレゼンテーション（発表会）。各校8分間の持ち時間で成果披露しました。

### 観光列車「すいせい」（成城中高）

参加10校（一部リモート）のうち、最優秀賞の美里町長賞に輝いたのは東京都新宿区の成城中学高校鉄道研究部。「学園都市こごた」、「美里町・星のまち作戦」、「バスによる交通改革」、「小牛田駅前への美里町役場移転とSL展示」、「美里町を仙台市のベッドタウンに」の5項目を提案しました。

星のまちは澄みわたった夜空の美里ならではの地域振興策で、廃校になった小牛田中学校を宇宙展示施設にリニューアルします。鉄道が駆けめぐらす、陸羽東線などを走るキハ110の窓を上部に広げて観光列車「すいせい」（仮称）に。キハ110の観光列車化は、2013年秋にデビューした「TOHOKU EMOTION（東北エモーション）」がお手本です。

# フリーパブリシティ



「SL (C11) を転車台に」(清風南海高)

次点のJR東日本小牛田統括センター所長賞は、大阪府高石市の清風南海高校鉄道研究部に。成城高と同じく注目したのは小牛田公園に静態保存されるSL・C11で、これを小牛田駅に移設して転車台に乗せます。

同校がお手本にしたのが、美里町と同じ鉄道のまち、京都府福知山。2023年8月には福知山城公園に「福知山鉄道館フクレル」がオープン、SL・C58 56の静態保存や運転シミュレータ、鉄道ジオラマを目当てに、多くの鉄道ファンが訪れます。

ハード面では、美里町内のNTT施設（旧電話交換所）を観光施設化して観光物産館に。地元関係者からも、「グッドアイディア」の賛辞が寄せられました。

清風南海高はリモート参加でしたが、2025年7月に美里町を訪れたそうです

「非鉄道事業に成長の軸足」(鐵坊主さん)

全校の発表後には、ゲストの鉄道解説YouTuber・鐵坊主さんが、「鉄道まちづくりの方向性」のタイトルで講演。本業はカナダで旅行会社を経営する鐵坊主さん、2020年のコロナ禍をきっかけに始めた鉄道解説チャンネルが好評です。



鉄道の未来を担う高校生にエールを送る特別ゲストの鐵坊主さん（筆者撮影）

講演ではコロナ禍後の鉄道について、「リモートワーク普及の一方で、インバウンド需要という追い風もあり、外的には自然災害の影響を大きく受けている」と変化を要約。

そのうえで鉄道会社が考える鉄道の未来について、「JR東日本の高輪ゲートウェイ開発や金融ビジネス進出に象徴されるように、非鉄道系事業に成長の軸足を置くようになった」と針路を展望しました。

次回は「鉄道SUMMERカンファレンス」に

交流会ラストには、サプライズの発表が。地鉄交流会は14回目の今回でいったんピリオドを打ちます。

2026年の次回からは主催者の一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会はそのままで、「鉄道SUMMERカンファレンス」に名称変更。調査研究にも軸足を置きながら、新しい歴史を刻み始めます。

地方鉄道や沿線と、鉄道を愛する高校生の架け橋になってきた地鉄交流会。新展開に期待したいと思います。



写真部門でJR東日本小牛田統括センター所長賞を受賞した地元・古川学園高校の今井陽希さんの「黄昏(たそかむ)」(陸の駒ヶ岳)(写真:全国高校生植物大賞度会)



線路、道路の二刀流に鉄研部昌也興味津々な軌陸車のデモンストレーション（写真：全国高校生地方鉄道文観会）

記事：上里夏生

■河北新報 12月2日

\*執筆：古川学園高等学校 新聞部

掲載日:2025年12月02日, 面名:NEOXX0, 記事ID:K2025120200000013300

(C) 河北新報社



宮城・美里で地方鉄道交流会

古川学園高

## 鉄路生かして誘客探る



グループ討議で講師の話に耳を傾ける高校生た

線路と道路の両方を走行できる珍  
い車両を前に、「参加者は興味津  
々トにちなんだ臨時列車の運行を  
提案」。

41

# 代表理事 総評

東北本線、石巻線、陸羽東線が交わる交通の要衝、小牛田駅がある宮城県美里町で第14回交流会を8月8日から10日の3日間にわたり開催することができました。相澤清一美里町長は、昨年の第13回交流会in三重県上野市の最終日にビデオメッセージを届けてくださいました。その中で小牛田駅は、今から135年前、1890年に宮城県で仙台駅に次いで2番目に開業した駅。その駅がある美里町は、小牛田町と南郷町が合併してちょうど20周年の節目に当たる年に交流会を開催できることに大きな喜びと若い世代の街の活性化を図るプレゼンテーションに期待と希望を持っていると宣言してくださいり、まちづくり推進課をはじめ、地域おこし協力隊の方々にも様々なご協力をいただくなど、美里町の皆様には、一方ならぬご支援を賜りましたことを深く感謝いたします。

東日本旅客鉄道株式会社小牛田統括センター所長 渡邊和利さんには、参加生徒の皆さんに寄り添った様々なご配慮を戴きました。「特急列車イブニング・ウエイは、地域からの挑戦状なのだ。この挑戦が上手く行けば、金曜日の夕方のみならず、どんどん便数が増えていくはずだ。鉄道を大きな財産、すなわち地方創生のツールとして活用する」との力強いお言葉を戴きました。

また、第14回は、多くの方々から講演していただきました。元近鉄広報マン福原稔浩さんは、「阪神に憧れた少年が、近鉄の名物広報マンになるまで。そして新たな挑戦～「運命の分岐点を越えて——鉄道と共に歩んだ50年」。鉄道写真家・フォトエデュケーターの武川健太さんは、「福幸（ふっこう）もたらす鉄道と人の力」写真家として鉄道と関わり、なにができるのか？～好きを生かすアイデアと、伝わる写真の撮り方～」。

美里町産業振興課 主幹小南友里さんは「鉄道と地元産業との関わり～今までとこれから～」。

JR東日本小野田恵一さんは、「元、高校鉄道研究部 部長のJR社員が語る「わたしの地図の読み解き方」」。鉄道系YouTuber鐵坊主さんは、「鉄道まちづくりの方向性～各校の発表を受けての今後の展開」の講演を戴きました。宮城県小牛田農林高校の皆さんは、栽培されている可愛い花々と美里町のキャラクター「みさとまちこちゃん」「交流会ロゴマーク」のコラボレーション企画のレジンアート・キーホルダーの制作を指導してくださいました。

ありがとうございました。「わさび号」はじめ、生徒さんが飼育されている牛を間近で見られたことは稀有な体験でした。

軌陸車テックさんによる軌陸車の稼働デモンストレーションと解説は、大いに盛り上がりました。

鉄道の安全と保守を担う技術と日々のアップデートのために努力なさっている姿に触れることができました。

プレゼンテーションをしてくださった学校は、10校でした。

どのチームも入念な調査に基づいた活性化案を披露してくださいました。第14回テーマ「歴史ある鉄道の街美里町の観光資源を発掘し誘客につなげるには」について、随分考えてくださったのだなと思います。事務局への提出期限7月末までに、どの学校も活性化を提出してくださっていましたが、変更案を再提出してくださった学校は、なんと10校のうち10校、100%でした。初日、2日目に講演を聴き、美里町の風土に接して、地域の方々と触れ合うことで、さらに磨きをかけた結果だと思います。留置線も含めた広い小牛田駅構内そのものの観光資源化の提言は複数のプレゼンで披露されました。既存の鉄道関連資源を、大胆に従来の目的以外にも利活用しようと提案してくださいました。

美里中学校が新設されるまで、その任を担ってくれた3つの中学校の資産の利活用案多くのチームが考えてくださいました。バラ園創設、ROSE-SL、田圃アートならぬローズ・アートの提言等は、実現すると本当に素敵ですね。

学園都市構想は、人流解析に基づいており理にかなっています。住民税軽減にまで言及なされたことは、おそらく初めてだと思います。小牛田駅の東側と西側で大胆にゾーン分けし、バス路線を再編成するという提言は、3つの中学校で使われ、生徒送迎の役目を果たした研修バスを美里町住民バスに利活用するという着眼点が優れています。

太宰治、宮澤賢治の作品の足跡を丹念に辿り、小牛田駅が二人にとって大切な場所であったことを発掘して発表してくださいましたプレゼンは、文学と鉄道、作家と鉄道という新しい切り口を交流会参加者に教えて下さいました。

これからどんな作品が皆さんのプレゼンで登場してくるか楽しみです。

活性化案を実現可能にするために、クラウドファンディングやふるさと納税を挙げるプレゼンが増えてきました。

資金面の手当てにも考えが至ってきたことは素晴らしいと思います。予算書を作り、収支予想を立て、資金回収策まで策定された企画をプレゼンできれば、実行性が飛躍的に高まります。



そのために必要となる資料を集めには、どうすれば良いのか、皆さん、知恵を絞ってください。はじめにお話申し上げましたように、交流会開催にあたって、美里町の方々をはじめ多くの方々からご支援をいただきました。今回も、6名の交流会OBが撮影・音声・配信などの業務を担ってくださいました。感謝いたします。

高校生の皆さんも卒業後は是非、交流会スタッフとして力を貸してください。

マナスル登山隊の隊長を務めた今西錦司は、隊員たちが「先生、現地の地図が一枚もありません！」と言ったときに、「せやから、行くんやないか！」と応えたそうです。

地図がなければ、資料を集めて、地図を創るところからはじめて、次の高みを目指しましょう。

一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会代表理事 大溝貫之



# 企画部門 最優秀賞 副賞・ヘッドマーク授与式

企画部門の最優秀賞となる美里町長賞を受賞した成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部が副賞として獲得した『ヘッドマークデザイン権』  
成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部がデザインしたヘッドマークを、美里町にお贈りする  
【ヘッドマーク授与式】を開催。

【日時】2025年12月18日（木）14:30～15:00

【実施場所】美里町総合案内所（JR小牛田駅内）

## ■ヘッドマーク



小牛田駅の自由通路のもと、駅で見られる様々な車両、そして今回活性化案としてプレゼントしました「星の街」をイメージして、美里町の北にある山々を背景に「星座小牛田」が輝く姿にしました。

青い空、稔る稻穂、北浦梨、薔薇、牛という美里町の特徴をぎゅっと詰め込みました。

## ■第14回全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町 『ヘッドマーク授与式』 次第

- 一、開式の辞
- 一、主催者挨拶
- 一、宮城県美里町長挨拶
- 一、成城中学校成城高等学校 鉄道研究部挨拶
- 一、ヘッドマーク（レプリカ）授与
- 一、記念撮影（駅舎バック）
- 一、閉会の辞
- 以上



# 企画部門 最優秀賞 副賞・ヘッドマーク授与式

■成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部 HM 掲出列車に乗車し、小牛田入り

第12回（2023年）開催対象路線である宮城県内を走る阿武隈急行線に

2025年12月18日(木)～2026年1月18日(日)の約1カ月間掲出。

※阿武隈急行AB900系AB-7編成（みどり）に掲出／途中で変更になる予定あり



上り（福島方）先頭車



福島駅にて



下り（梶木方）先頭車



福島駅にて



大溝代表 挨拶



祝辞：美里町 相澤町長



成城中学校・成城高等学校 代表挨拶  
鉄道研究部 部長 西山陽希さん

# 企画部門 最優秀賞 副賞・ヘッドマーク授与式

## ■ヘッドマーク（レプリカ）授与

デザイン制作を希望した部員の皆さん的作品の中から 相応しいと思う作品を 部員全員で選びました



▲ご自分がデザインしたHMを贈呈する 成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部 亀石悠太さん

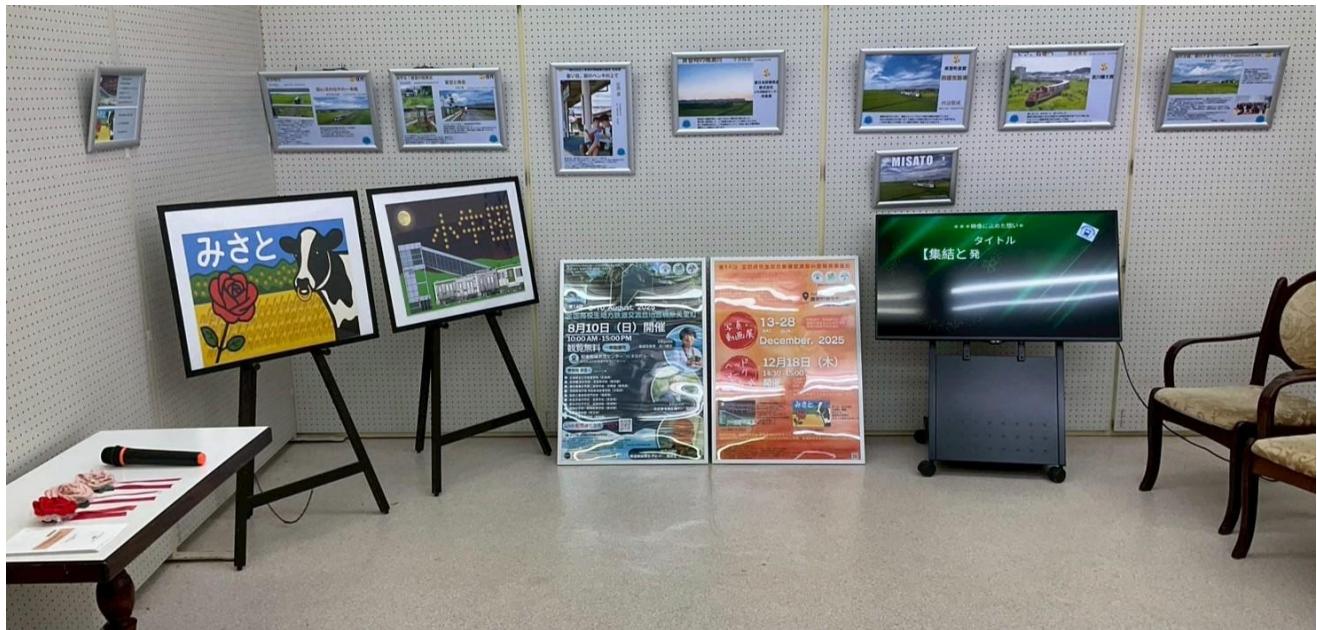


デザインは 成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部 前田祐作さん▶  
贈呈は 鉄研 西山部長から。

## ■記念写真



# 写真動画展・HM授与式 展示風景



# 告知物

## ■開催案内 A1／ポスター2部

データポスターにてSNS発信



## ■ポスター掲出／美里町役場



## ■X（旧Twitter）

【公式】全国高校生地方鉄道交流会

<https://x.com/chitetsukoryu>

## ■YouTube

【公式】一般社団法人 全国高校生地方鉄道交流会

<https://www.youtube.com/@chitetsukoryu>

## ■Facebook

一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会

<https://www.facebook.com/chitetsukoryu>

## ■Instagram

【公式】全国高校生地方鉄道交流会

<https://www.instagram.com/chitetsukoryu/>

## ■LINE

全国高校生地方鉄道交流会

<https://lin.ee/N6WEAQh>

# フリー・パブリシティ

## ■公式よりRELEASE

12月3日

### PRESS RELEASE



2025年12月3日  
一般社団法人 全国高校生地方鉄道交流会  
代表理事 大溝 貴之

## 【第14回 全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町】

### 写真／動画部門 受賞作品 副賞・写真動画展 企画部門 最優秀賞 副賞・ヘッドマーク授与式

#### ご案内

一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会（代表理事 大溝貴之）は、今年で第14回となる、全国高校生地方鉄道交流会を、東北本線 石巻線 陸羽東線が交わる交通の要衝・小牛田駅がある宮城県美里町の協力を得て、美里町合併20周年賛同事業として「歴史ある鉄道のまち・美里町の観光資源を発掘し、訪客に喜ばれるために」をテーマに2025年8月8日(金)～10日(日)に開催し、オンラインを含め10校76名の生徒が参加しました。

企画部門、写真部門、動画部門で構成され、企画部門の最優秀賞となる美里町長賞にはカンファルクワ・美里町を創るアーティスト付き町役場新設計画デッキやキャンバス説教以体験的に町のアーリーナなどを提案した成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部（東京都）が選ばれ、副賞としてヘッドマークデザイン権が授与されました。

この度、写真部門・動画部門の副賞として、入賞作品の【写真・動画展】及び、成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部がデザインした【ヘッドマーク授与式】を、下記の日程で実施しますので ご案内申し上げます。



■8月10日開催時の集合写真

1 / 4



#### 開催概要

\*イベント内容は変更になる場合がございます

【開催期間】2025年12月13日(土)～12月28日(日)

【実施場所】美里町総合案内所 (JR 小牛田駅内)

開所時間：9:00～17:00/定休日：月曜日/開所時間は施設規定により変動する場合がございます

#### ■ヘッドマーク授与式

【日 時】2025年12月18日(木) 14:30～15:00

【実施場所】美里町総合案内所 (JR 小牛田駅内)



#### ヘッドマーク授与式 出席者

\*予定のため一部変更になる場合がございます

受賞賞：成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部  
美里町／一社）全国高校生地方鉄道交流会

2 / 4



#### ■写真動画展 入賞作品



#### 主 催：一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会

公式 HP <https://chitetsukoryu.org/>  
公式 Facebook <https://www.facebook.com/chitetsukoryu>  
公式 X <https://x.com/chitetsukoryu>  
公式 Instagram <https://www.instagram.com/chitetsukoryu/>  
公式 YouTube <https://www.youtube.com/@chitetsukoryu>

#### 後 援：国土交通省、文部科学省、宮城県、宮城県教育委員会、美里町、美里町教育委員会

東日本旅客鉄道株式会社小牛田統括センター、宮城県私立中学高等学校連合会  
一般社団法人日本民營鉄道協会、一般財團法人東京私立中学高等学校協会  
一般社団法人、美里町物産観光協会、NHK 仙台放送局、株式会社宮城テレビ放送  
knb 東日本放送、河北新報社、株式会社大崎タイムズ社、日刊工業新聞社、株式会社交通新聞社

#### 協 力：宮城県美里町 <https://www.town.misato.miyanagi.jp/>

宮城県美里町地域おこし協力隊、株式会社スージェットペル、有限会社アカフレイス



地鉄交流会 公式 HP

問い合わせ先：一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 事務局  
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-19-3-202  
e-mail：[info@chitetsukoryu.org](mailto:info@chitetsukoryu.org) TEL.03-6822-2835  
広報担当：奥山令子



3 / 4

4 / 4

成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部が  
デザインしたヘッドマークは  
2025年12月18日(木)～  
2026年1月18日(日)の約1ヵ月間、  
第12回(2023年)開催対象路線である  
宮城県内を走る阿武隈急行線に掲出されます。



